

令和3年度 石見銀山基金事業

# 石見銀山学習概要報告集

班別

- 【1班】 第一中学校・大田小学校・長久小学校・川合小学校・久屋小学校
- 【2班】 第二中学校・静間小学校・鳥井小学校・久手小学校・朝波小学校
- 【3班】 第三中学校・大森小学校・高山小学校
- 【4班】 北三瓶中学校・志学中学校・志学小学校・北三瓶小学校・池田小学校
- 【5班】 大田西中学校・仁摩小学校・温泉津小学校

大 田 市 校 長 会  
石 見 銀 山 課  
NPO石見銀山協働会議

# 1 班

第大長川久

一田久合屋

中小小小小

学学学学学

校校校校校

## 令和3年度 石見銀山学習の概要

1. 実施学年・人数      3年生・155名
2. 実施時期              令和3年6月～7月
3. 学習のねらい
  - ① 石見銀山について、世界遺産としての価値や魅力をより深く知る。
  - ② 石見銀山を「持続可能な大田市の資源」にするために、魅力や改善策を提案発表できる。
  - ③ 石見銀山学習を通して、自分の生き方を見つめ、ふるさとへの誇りと愛着を育てる。
4. 学習内容
  - 〈事前学習〉
    - ① 石見銀山資料館館長 仲野義文さんの講話を聞く。
    - ② 現地学習で回るコースについての調べ学習をし、課題や解決策、現地学習で質問したいことについてまとめる。
    - ③ 石見銀山の資料（本やDVD）などを使い、石見銀山の歴史や銀山学習の目的について学習を行い、銀山の魅力や課題をまとめる。
  - 〈現地学習〉
    - 幕末～近代明治の銀山コース、観光と暮らしの両立コース、武家・商家コース、奉行・代官の仕事コース、江戸時代の鉱夫コースの5つのグループに分かれ、銀山ガイドの会の方とともに大森の町を歩いて事前学習を生かして新たな情報収集を行う。
  - 〈事後学習〉
    - ① 現地学習等で得られた情報をもとに、グループで提案発表会の資料をパワーポイントで作成する。
    - ② 学年で提案発表会を行い、グループで考えた石見銀山が「持続可能な大田市の資源」になるために取り組むべきことを共有する。
    - ③ 振り返りをする。
5. 実際の学習の様子



仲野館長の講話



幕末～近代明治の銀山コース



観光と暮らしの両立コース



武家・商家コース



奉行・代官の仕事コース



江戸時代の鉱夫コース

## 生徒の感想

### <幕末～近代明治の銀山コース>

- ・学習を通して、石見銀山のすごさを改めて知ることができました。また、こんなに素晴らしいものをうまく活用できていないことはもったいないことだと思いました。

提案発表会では現地学習でガイドの方に教えてもらったことや、自分たちが実際に行ってみて感じたことをうまくまとめ、良い発表ができたと思います。また、他の人の発表を聞いて、みんな石見銀山についてしっかり考えていると思いました。

石見銀山がよりよい大田市の資源になるために、自分にもできることがあると思ったので、今すぐにも実践していきたいと思いました。

### <観光と暮らしの両立コース>

- ・石見銀山の街並みを歩くのは楽しいし、ガイドの方の話もわかりやすく面白かったです。ただ、観光に来た人がガイドを頼む機会は少ないとも思いました。学習を通して、もっと簡単に石見銀山のよさを知ってもらうにはどうしたらよいか考えました。また、その過程で私たちは石見銀山に来てくれた人にどんなよさを知ってほしいのだろうかということも考えることができました。

### <武家・商家コース>

- ・石見銀山の街並みは、電柱を地下に埋めたり、自動販売機やポストなどの現代風な物は周りを木で覆ったり、消火栓やホースをいろいろなところに設置して火事に備えていたりしていることから、大切に守られているのだと感じました。

良いところもたくさんある反面、観光客が少なかったり、大森に住む人口が少なかったり、草が生えたりしているという課題点もあったので、それらの改善に協力することで石見銀山の魅力や価値をさらによりよいものにし、石見銀山を持続可能な大田市の資源にしていきたいです。

### <奉行・代官の仕事コース>

- ・学習を通して、石見銀山は神社や寺がたくさんあり、昔のまま残っていたり、歴史がたくさん学べたりできる良い場所だと思いました。でも、今の石見銀山の現状は、年々観光客が減っていて、住んでいる人もどんどん減っているなど、あまりよくない状態だと思いました。

今回の提案発表会で出た提案をみんなで取り組むとよりよくなると思うので、ぜひ実践してほしいです。また、私も石見銀山に関わるボランティア活動に参加して、石見銀山の活性化に協力したいと思うようになりました。

みんなで協力して、石見銀山がもっと観光客であふれる場所にしたいです。

### <江戸時代の鉱夫コース>

- ・今まで、小学校などで何度か石見銀山について学んだことがあったけれど、今回は提案などを考えて、違う視点で学習することができたので良かったと思います。また、班でしっかり協力してパワーポイントなどを使って提案をまとめることができました。

学習を通して、今の石見銀山に必要なことは、石見銀山について知らない人に知ってもらうことだと思いました。

## 6. 成果と課題

- 仲野さんの講演や現地でのフィールドワークを通して、石見銀山の世界遺産としての価値や魅力を知り、提案を発表することができた。
- 生徒にとっては改めてふるさとを見つめ直す良い機会になり、ふるさとを誇りに思う気持ちと愛着心を高めることができた。
- ガイドの方とのふれあいを通して、人と人との関わり方を学び、世界遺産を保全している人々や町並みの景観に努める町民の気持ちを思いながら学習することができた。
- △他の行事との兼ね合いから、実施時期が7月になり、慌ただしい中で事後学習を行うことになったため、まとめの時間が十分に取れなかった。

## 令和3年度 石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

1 実施学年・人数 6年生 70名

2 実施時期 令和3年9月～令和4年1月  
(※現地学習10月15日)

### 3 学習のねらい

- 石見銀山資料館で世界遺産「石見銀山」の歴史や価値を学び、ふるさと大田市を含め石見銀山への興味や関心を高める。
- 間歩を見学することで、銀の採掘（技術）、堀子の苦労や工夫を知る。
- 大森の町並みの見学や街道を歩くことを通して、歴史を感じると共に地域の方の保全への思いや願いを知る。

### 4 学習内容

#### (1) 石見銀山との出会い

- ・講師を招き、世界遺産と石見銀山についてのオリエンテーションを行い、興味をもったことの中から、自分の追求したい課題を見いだす。

(講師) 筑波大学 大学院生 (石見銀山資料館インターン) 金田 郁也 氏

- ・書籍、パンフレット、ビデオ、インターネット等を活用しながら、自分の課題についての情報を収集したり、課題を焦点化したりする。

#### (2) 石見銀山について調べよう

- ・学習したことを、より深めるために現地見学を行う。
- ・講師を招き、調べていく中で疑問に思ったことについてお話を聞く。

(講師) 石見銀山資料館 館長 仲野 義文 氏

(講師) 三瓶自然館サヒメル 学芸員 中村 唯史 氏

#### (3) 石見銀山を発信しよう！

- ・学習したことをまとめ、デジタルライブラリーを作成し、保護者に発表する。
- ・作成したデジタルライブラリーを銀山資料館デジタルライブラリーに提供する。

### 5 実際の学習の様子

【世界遺産と石見銀山についてのオリエンテーション (講師) 筑波大学大学院生 金田 郁也 氏】

世界遺産とはどのようなものなのかということや、石見銀山遺跡の概要についての話を聞いた。

さまざまな写真や資料を見たり、オンラインで大学院生に質疑応答を行ったりして、今後の石見銀山学習についての関心や意欲を高めることができた



## 【現地学習】

間歩と町並みの2つのコースに分かれて、現地見学を行った。

- ①間歩コース（龍源寺間歩、新切間歩、清水寺、豊栄神社など）
- ②町並みコース（旧河島家、観世音寺、熊谷家、城上神社、銀山資料館など）



## 【まとめと発信】

学習したことをまとめ、デジタルライブラリーを作成し、学習発表会で保護者に発表した。そして、作成したデジタルライブラリーを銀山資料館デジタルライブラリーに提供した。

### 6 学習の成果と課題

○世界遺産の素晴らしさを事前に学習したことで、自分たちのふるさとに世界遺産があるということに驚き、誇りをもつことができた。また、自分たちで守っていききたいという気持ちもうまれた。

○石見銀山遺跡の現地に出かけ、実際に歩いたり、見聞したりすることができ、遺跡について実感をもって捉えることができた。この活動を通して、子どもたちの石見銀山について学びたいという意欲が大いに高まった。

○石見銀山資料館館長の仲野さんやサヒメルの中村さんのお話を聞いたり、質問して答えてもらったりしたことで、石見銀山遺跡の知りたかった具体的な情報等を獲得することができた。また、遺跡について人を介して知ること、子どもたちにとってはより身近に感じることができた。

○石見銀山の「現在・過去・未来」という視点で、課題を追究する活動を実施したことで、世界遺産としての価値を、時間軸の中で捉えていくことができた。また、子どもたちの学習を発表会で表現する際にも、効果的な発表へとつなげることができた。

○石見銀山資料館の方のご厚意により、子どもたちの学習をデジタルアーカイブとしてまとめさせていただく機会を得ることができた。子どもたちは、自分たちの学びの成果がインターネットを通じてたくさんの方々に伝えられることができることに、とても充実感をもっていた。

△石見銀山の現地見学・世界遺産センター見学・講師の方のお話の3つを大きな柱として学習をすすめたかったが、すべてを網羅することができなかった。余裕のある日程にするためには、数回見学に行く機会をもちたい。

△子どもたちの追究活動を子どもたち自身の興味・関心に基づいて実施した。しかし、石見銀山遺跡を教材として実践する際に、何を通じて、何を学ぶかというような教材分析をより深めておくと、深まりのある学習になると感じた。

△現地見学に出かける際の輸送手段の調整等があり、授業担当者の授業以外の負担感が強い部分がある。学習活動を深めるための事前の交渉等を軽んじることは適切ではないが、授業担当者以外のチームによる対応ができると、授業担当者が子どもたちの資質・能力の育成に力を注ぎやすい。



## 令和3年度 石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

1. 実施学年・人数                      6年生 29名                      4年生 36名
2. 実施時期                              令和3年9月～11月
3. 学習のねらい

○郷土の貴重な歴史、文化などについて学習することを通して、ふるさとに誇りをもち、大切にしていこうとする心情を育てる。

○石見銀山について学んだり、体験したりしたことをまとめ、発表することができる。

4. 学習の内容

主な学習内容（6年）	主な学習内容（4年）
<p><b>【事前学習】</b></p> <p>○石見銀山について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットや石見銀山ことはじめ等から、石見銀山の歴史や価値について知る。</li> </ul> <p>○石見銀山について調べたいテーマを見つける。</p> <p><b>【現地学習①9月2日】</b></p> <p>○石見銀山について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産センターで、展示物を見学したり説明を聞いたりして、テーマについて調べる。</li> <li>・大久保間歩を見学する。</li> </ul> <p><b>【現地学習②9月9日】</b></p> <p>○石見銀山について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石見銀山資料館で展示物を見学する。</li> <li>・龍源寺間歩を見学する。</li> <li>・五百羅漢の見学。</li> </ul> <p><b>【学習を深める】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石見銀山資料館館長さんの話を聞く。</li> </ul> <p><b>【事後学習】</b></p> <p>○情報発信する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石見銀山についてテーマごとにプレゼン用ソフトにまとめ発表する。</li> <li>・学習の成果をまとめ、学習発表会において、保護者等に向けて発信する。</li> </ul>	<p><b>【事前学習】</b></p> <p>○郷土の発展に尽力した井戸平左衛門について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットや社会科副読本「わたしたちの大田市」を使い、井戸平左衛門の行いやその時代の飢饉について調べる。</li> <li>・大森の町内の石碑について調べる。</li> <li>・調べたことをもとに今後調べていきたいことを考える。</li> </ul> <p><b>【現地学習 10月22日】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石見銀山資料館で展示物を見学し、井戸平左衛門の行いやその時代の飢饉について調べる。</li> <li>・井戸神社や榮泉寺、大森の町並みを探索する。</li> </ul> <p><b>【事後学習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地学習で学んだこと、感じたことを発表し合い、共有する。</li> <li>・郷土の伝統や文化、先人の活躍、今後さらに深めていきたいことなどを調べる。</li> <li>・石見銀山学習を通して学んだことや感じたこと、プレゼン用ソフトにまとめ、発表をする。</li> </ul>

5. 実際の学習の様子

<6年生の学習>



## <4年生の学習>



### 6. 学習の成果と課題

(6年生)

- ・講師の仲野館長さんの説明を聞くことで、児童の石見銀山遺跡についての知識が増すとともに、学習意欲の高まりを感じた。
- ・現地学習については、世界遺産センターで基礎的な知識を学んだり、石見銀山資料館で歴史を感じたりすることができた。また、2つの間歩を比較することで、新たな疑問が生まれ学習が深まった。
- ・自分が設定したテーマで、銀山学習の内容をまとめていく過程で、ふるさと大田にある石見銀山の価値を再認識することができた。また、郷土に対する愛着を深めることができた。

(4年生)

- ・郷土の発展に尽力した井戸平左衛門について調べたことで、当時飢饉によって苦しんだ人々の思いに寄り添い、自己犠牲を払ってでも助けようとした先人への感謝の気持ちをもつことができた。
- ・石見銀山資料館で様々な展示物を見たり、館長さんの説明を聞いたりしたことで、今と昔の生活の違いや先人の活躍などについて知ることができ、歴史に対する児童の興味・関心の高まりを感じた。
- ・大森の町並みを探索したことで、自然に囲まれた美しい景色や情緒あふれる昔ながらの町並みを見たことで、郷土に対する愛情をさらに深めることができた。

### 7. 児童の感想

- ・銀山学習を通して、私たちが生まれ育ったこの町の人々を助けるために、井戸平左衛門がサツマイモを普及させたり、米をくばったりしたことを初めて知りました。また、大森の町を探索すると、昔ながら町並みが残っていて、とても楽しかったです。この町を守ってくれた井戸平左衛門に感謝したいです。そして、井戸平左衛門が必死でこの大森の町を守ったように、自分たちも大切に守り続けていきたいです。(4年)
- ・私は、見学に行くまで、間歩に入ったことがありませんでした。大森の町には間歩がいっぱいありました。その中には人が入れるのかと思うぐらいの狭い間歩もありました。大久保間歩はこれを人が掘ったのかと思うほど広くてびっくりしました。間歩の中は、機械を使って掘った場所と手掘りの場所とわかれていました。機械はとても便利だと思います。手掘りは時間がかかるけれど、掘る人の思いがこめられているので手掘りもいいと思います。龍源寺間歩は手掘りでした。間歩の壁には少し穴が開いているところがあったので、らとうを置いていたのかなと思いました。銀鉱山で働いていた人々は病気にかかりやすかったそうです。それを防ぐために江戸時代にマスクが作られていました。間歩の中には酸素が少なかったはずなのに、その上、マスクをしているのは大変なことだなと感じました。命にかかわる仕事なのに続けていたということは、石見銀山で働くことにほこりを感じていたのではないかと思いました。間歩を掘り続けるのに石が落ちてこないために木を組んだり、灰吹法で燃料としてたくさん木を使ったりしました。でも、今も大森の町には豊かな自然が残っています。これからもどんどん調べていって石見銀山について知っていきたいです。(6年)



## 令和3年度石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

○ 実施学年・人数 第6学年 人数9人

○ 実施時期 令和3年10月20日

○ 学習のねらい

- ・石見銀山について学習することを通して、ふるさとへの愛着と誇りをもつ。
- ・見学調査活動を通して、石見銀山遺跡の歴史的価値を調べ、自分なりの表現でまとめる。

○ 学習内容

### 学習テーマ 知ろう！ 探ろう！ 石見銀山

- ① 3人の武将（信長・秀吉・家康）と石見銀山との関わりを学ぶ。
- ② 視聴覚教材や図書、パンフレット、インターネットを通して石見銀山の概要を知る。
- ③ 大久保間歩・釜屋間歩を見学する。
- ④ 世界遺産センターで館内見学と選鉱体験をする。
- ⑤ 現地学習の報告書を作り、事前に作ってきた資料と共にパンフレットとしてまとめる。

1 学習発表会で学習したことをたくさんの人に伝える。

○ 実際の学習の様子

#### 【事前学習】

- ① 3人の武将と石見銀山との関わりを学ぶ。
- ② 視聴覚教材や図書、パンフレット、インターネットを通して石見銀山の概要を知る。
  - ・社会科の時間に3人の武将と銀山の関わりを学んだ後、NHKで放送された「そのとき歴史は動いた～銀を制するものは天下を制する～」を視聴した。その後、新聞記事やホームページ、世界遺産センターから出ているパンフレットを活用して石見銀山の概要を小項目に分けて学習し、まとめていった。

#### 【現地学習】

- ③ 大久保間歩・釜屋間歩を見学する。



・銀を採掘するために、いろいろな体勢で仕事をしてきたこと、間歩で働く人の平均寿命が30歳くらいであったこと、地下何階もあったことなどを学んだ。暗く、足下も頭の上も心許ない感触を抱きながら、採掘に携わった人々の労苦を児童なりに感じ取ることができた。また、釜屋間歩の岩盤遺跡は当時の人々の生活が分かるものであり、遺産センターでの模型とつなぎ合わせて理解することができた。

## 1 世界遺産センターで館内見学と選鉱体験をする。



館内見学では、自分たちが今まで学習してきたことを頭に置きながら説明を聞き、見学することができた。展示物で銀山全体の広さや、歴史的価値を再度確認することができた。

選鉱体験では、水と銀の混ざった土が入ったたらいの中に選鉱用の容器を入れて、用心深く銀を選ぶ姿、おおざっぱに流す姿などさまざまであったが、小さな銀を発見しては歓声をあげていた。土の中から銀を取り出す作業の大変さを実感することができた。

### 【事後学習】

#### 1 現地学習の報告書を作り、事前に作ってきた資料と共にパンフレットとしてまとめる。



・現地学習後、世界遺産センターから出されている DVD を視聴し、自分がこれまで学習してきたこと、現地見学で学んだことを再度整理して報告書作りに取りかかった。

・間歩の中や遺産センターの模型等、何枚か写真を用意しておき、写真を切り貼りしながら現地見学の報告書を作った。見学で分かったことだけでなく、事前学習の内容をきちんと盛り込んで報告書を作る

ことができた。

・事後学習で作った報告書と事前学習で作っていた銀山の概要を個々がまとめたプリントを一冊のパンフレットにした。

#### ⑥ 学習発表会で学習したことをたくさんの人に伝える。



自分たちが学習したことを学習発表会で発表した。

銀山の歴史的価値や銀の採掘方法等を劇やクイズなど工夫して表現した。たくさんの人に伝えることで、自分たちの学びを深めることにもなった。

### ○ 学習の成果と課題

#### 【成果】

1 石見銀山のすばらしさを知り、大田市への愛着と誇りをもつことができた。

1 調査活動や体験活動を通して、歴史学習に興味をもち、学力の向上を図ることができた。

#### 【課題】

・児童が興味、関心を持って学習に取り組み、石見銀山の歴史的価値に思いをはせ、ふるさと大田をさらに大切にしようとするような学習過程を考えていきたい。

## 令和3年度 石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

1. 実施学年・人数 第5・6学年20名（指導者4名）

2. 実施時期 令和3年10月～令和4年2月

### 3. 学習のねらい

- ・ 石見銀山の歴史や現存している遺跡に興味をもち、意欲的に調べることができる。
- ・ 遺跡（大久保間歩）や世界遺産センター、久屋小学校の校区内の日本遺産の見学等を通し、銀生産が盛んだった頃の石見銀山の生活の様子や石見銀山の価値を知り、郷土に対する愛着を深めることができる。
- ・ 自分の課題解決に必要な資料や情報をさがし、分かりやすくまとめることができる。

### 4. 学習内容

過程	主な学習活動
事前	石見銀山について知ろう ・ 副読本（銀山ことはじめ）・DVD・図書館の本・パンフレット等から、石見銀山遺跡の歴史や価値について知る。 ・ 資料館仲野館長さんのお話を聞き、石見銀山とその周辺の町との関わりや日本だけでなく世界の国々にとっての重要拠点であったことを知る。 ・ 現地学習での課題を見つける。
現地学習	・ 大久保間歩の見学を行い、当時掘られていた様子を知る。 ・ 世界遺産センターを見学し、世界に及ぼした「石見銀」の価値について知ったり、銀を採掘することの大変さを感じたりする。 ・ 久屋小学校の校区にある日本遺産（松代鉱山・鬼村鉱山・鬼岩等）の見学を通して、当時の様子を知り、歴史的な価値を持つ文化遺産に興味を持ち、自分たちの故郷にある文化遺産を保存しようとする意欲を持たせる。
事後	・ 資料および見学や体験学習で学んだこと、さらに自分自身で調べたことなどをまとめ、発表する。

### 5. 実際の学習の様子



【石見銀山資料館館長仲野さんのお話】





【世界遺産センターでの丁銀作り】



【大久保間歩坑内見学】



【銀山ガイドの会の方から説明を受ける】



【世界遺産センター内見学】



【世界遺産センター】



【鬼岩伝説を鬼岩の前で仲野館長より聞く】

## 6. 学習の成果と課題

- ・石見銀山に関する知識がほとんどなく関心も薄かった児童が、その歴史的価値を学ぶよい機会となった。そのため、児童にとって石見銀山が身近なものとなり、関心も高まった。
- ・身近な地域にある石見銀山の価値を学んだことで、ふるさとに対する誇りや郷土愛が育まれた。
- ・自分たちの住んでいる地域には、世界遺産だけでなく日本遺産という価値のある遺産があることを知り地域の宝をもっと調べてみようという意欲が湧いた。
- ・多くの体験的な活動を通じて、児童の主体的学習態度を高めることができた。
- ・この学習を通じて多くの方々とお会いしたことは、コミュニケーション能力を高めることにつながった。

# 2 班

第  
静  
鳥  
久  
朝

二  
間  
井  
手  
波

中  
小  
小  
小  
小

学  
学  
学  
学  
学

校  
校  
校  
校  
校



## 令和3年度 石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

### 1 実施学年・人数

1年生74名

### 2 実施時期

令和3年9月～令和4年2月

・事前学習 10月12日(火) 現地学習 11月26日(金)

### 3 学習のねらい

- ・生徒が石見銀山の歴史や価値などについて知識・理解を深め、ふるさとに誇りをもち、ふるさとを愛する心を育てる。
- ・生徒が地域の人々との交流を深めながら、世界遺産に登録されてからの変化について調べ、これからの石見銀山のあり方について考えようとする態度を育てる。
- ・世界遺産である石見銀山の魅力を再発見し、伝えようとする態度を育てる。

### 4 学習内容

#### (1) 事前学習

- ・ガイダンスで学習のねらいや活動計画を知り、学習の見通しをもつ。
- ・小学校での学びをもとに、16班のグループに分かれてそれぞれテーマを設定し、観光プランを立案する。(7テーマ)。
- ・観光プラン内の訪問予定地を各自で調べるとともに、石見銀山ガイドの会から観光プランの内容や訪問予定地についてアドバイスをいただき、石見銀山への理解を深める。

#### (2) 現地学習

- ・グループごとに立案したプランに沿って現地研修を行う。
- ・現地では、石見銀山ガイドの会や事業所の方々などの石見銀山に関わりの深い方にインタビューをし、石見銀山への理解を深める。
- ・班別自主研修を行い、班内で協力することや時間を守ることなどの大切さを学ぶ。
- ・観光プランに沿って、世界遺産センターで体験活動をしたり、史跡について石見銀山ガイドの会から詳しい説明を聞いたりして、石見銀山への学習を深める。

#### (3) 事後学習

- ・現地研修で感じたことや新たに知ったことをふまえて、観光プランを再検討する。
- ・観光プランをガイドブックの形式でまとめる。
- ・発表会で観光プランをプレゼンテーションし、そのプランの魅力や学んだことを全体で共有する。
- ・ガイドブックは図書館に展示し、全校生徒に発信する。

### 5 実際の学習の様子

#### (1) 生徒の感想

- ・石見銀山については小学校のときにも勉強したので、知っていることがほとんどだと思っていました。でも、いざ調べていくと、知らないことや聞いたことのないことなどがたくさんあり、とても驚きました。また、石見銀山だけではなく、その周りのことについてもインタビューなどを行うことで、普段聞けないことを教えてもらうことができたので良かったです。

- ・私はこの学習を通して一番思ったことは、大森町の方々がとても石見銀山を愛しておられることです。実際に行ったときに、地区の方に「大森に来てくれてありがとうね。じっくり見ていってね。」と声をかけられました。その時に、大森を愛しておられるんだなあと強く感じました。私も大田市や地元の久手町の誇りに思えるところを探していきたいです。そして、今日の発表を聞いてみて、私の知らない場所がたくさんありました。これからは、石見銀山でも知られていない良いところをもっと探してみたいです。
- ・石見銀山学習全般を通して、自分が知らなかったところで、伝えられ受け継がれてきた歴史がこんなにもあるんだな一と感心しました。見た目には地味ですが、行ってみたらわかる「魅力」がこんなにもあるんだと、島根県民として誇りが持てた気がしました。この「魅力」を知ってもらうために、できることを探して実行したいです。

## (2) 学習の様子と観光プランガイドブック



事前学習 観光プラン作り



班別 現地自主研修



発表会



観光プランガイドブック

## 6 成果と課題

- ・学習課題を「石見銀山の魅力が伝わる観光プランの提案」としたことで、石見銀山の魅力をどのように伝えるかという新しい視点で石見銀山の魅力について考えることができた。
- ・「人に発信するには自分が詳しく知る必要がある」という思いから、石見銀山の歴史や価値などについて主体的に調査することができた。
- ・資料からの情報だけで知識を深めるのではなく、現地に行って実際に見聞きし、体験することによって、石見銀山の世界遺産としての価値や魅力を理解することができた。
- ・石見銀山ガイドの会や事業所の方へのインタビューを通して、石見銀山に対する熱い思いを知った。そして、地域の人々との交流の機会を通して、これからの石見銀山のあり方について考え、ふるさとを愛する気持ちを持つことができた。

## 令和3年度石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

1. 実施学年・人数 第6学年（12名）  
第3学年（12名）・・・熊谷家
2. 実施時期 令和3年9月～12月
3. 学習のねらい
  - ・小久保間歩や岩盤遺跡などの見学を通し、石見銀山の価値を知り、郷土に対する愛着を深めることができる。
  - ・SDGsの視点から、銀生産の様子と銀山で暮らす人々の生活について調べ、人と自然との関わりについて考えることができる。
4. 学習の内容（第6学年）
  - ①事前学習  
『石見銀山と里山・里海のつながりを見つけよう』
    - ・パンフレットや資料、DVDから石見銀山の歴史や遺跡の価値について知る。
    - ・仲野義文さん（石見銀山資料館館長）に話を伺い、課題を見つける。
  - ②現地学習  
『人と自然のとの共生について調べよう』
    - ・大久保間歩や岩盤遺跡を見学したり、ガイドの方のお話を聞いたりして、銀生産の様子と銀山で暮らす人々の生活について調べる。
    - ・世界遺産センターの見学や体験活動を通して、銀生産の様子と銀山で暮らす人々の生活について調べる。
    - ・家の人や地域の方に話を聞いて、昔と今の林業や漁業の様子を調べる。
  - ③事後学習  
『学習したことをまとめて、表現しよう。』
    - ・調べたことを共有し、自然との共生について考察する。
    - ・学習を通して学んだことを新聞やポスターにまとめ、発表する。

### 学習の内容（第3学年）

- ・児童は、市の特色を学習した際に石見銀山が大田市の誇る世界遺産であることを学んだ。見学では、石見銀山が発展していく中で熊谷家が果たした役割について館内を見学しながら説明していただいた。そして、大森代官の命を受け、銀行や酒造業など様々な役割を行い、石見銀山の発展に貢献したことをまとめた。

## 5. 実際の学習の様子



仲野館長さん 特別授業



岩盤遺跡見学



世界遺産センター



SDGs 発表会 (里山)

## 6. 学習の成果と課題

### 【成果】

- ・石見銀山の歴史、価値についての理解を深めることができた。
- ・世界的に価値のある石見銀山遺跡を知ることを通し、郷土への誇りと愛着をもつことができた。
- ・SDGsの視点から自然との共生の在り方について考察することを通して、地球規模の様々な課題を自分事としてとらえることにつながった。

### 【課題】

- ・今年度、SDGsの視点から「自然との共生」をテーマにして取り組んだが、鉱山に重きが置かれて2本立てのようになってしまった。内容の焦点化とバランスを検討していきたい。

## 令和3年度 石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

### 1. 実施学年、人数

第5学年 9名 第6学年 10名 (指導者 3名)

### 2. 実施時期

令和3年9月～令和4年3月

### 3. 学習のねらい

- ・石見銀山について学習することを通して、ふるさと大田への愛着と誇りをもつ。
- ・自分の課題について、調べたり体験したりしたことをまとめ、発表する。

### 4. 学習内容

過程	主な学習活動
事前	①パンフレットやDVDなどの資料から、石見銀山遺跡や銀山街道について調べる。 ②銀山学習・特別授業（講師・石見銀山資料館仲野館長） ・仙の山に、銀ができた地学的な理由や、石見銀が世界へ広まった貿易など歴史的なことなどについて、説明を聞いて理解を深める。 ・石見銀山と鳥井町の関係などについて、自分の課題を解決できるように質問する。 ③現地学習での課題を見つける。
現地学習	①大森の町並みや石見銀山資料館、清水谷製錬所跡、勝源寺などの見学 ・大森の町並みや実際に製錬が行われていた跡地等を見学して、歴史や環境について理解を深める。 ②温泉津、銀山街道の見学（講師・仁摩小 多田先生） ・銀山街道や温泉津の町並み、沖泊などで説明を聞いたり見学したりして課題を解決する。
事後	①授業公開日・銀山学習発表会（5年） ・調べたり見学したりしてわかったことをまとめ、発表する。 ・保護者の方に、発表を聞いていただくことで、自己肯定感や地域への愛着心など、銀山学習や地域へのプラスの心情を高める。 ②銀山学習発表会（5, 6年）（地域講師・橋田良文さん） ・2年間で学んだことを生かし、これからの大田や鳥井の未来について考え発表する。 （6年） ・橋田さんの講評をもとに、今後の学習の見通しを持ったり、これまで学習したことを整理したりする。



## 5. 実際の学習の様子

仲野館長さんの特別授業



清水谷製錬所跡見学



石見銀山資料館見学



勝源寺見学



沖泊見学



銀山街道・温泉津町並み見学



授業公開日での銀山学習発表会



橋田さんに聞いていただく発表会



## 6. 学習の成果と課題

- ・石見銀山の歴史やその価値について理解を深めることができた。
- ・石見銀山資料館や遺跡見学を通して、さらに理解を深めることができた。
- ・講師の方や保護者の方へ、学んだことを発表することで、体験や知識が整理され、一人一人の学びがより深まった。
- ・今年度は、6年生が学んだことをもとに大田や鳥井の未来について一人一人が考えを発表した。地域への愛着をより一層高めることができた。
- ・世界遺産である石見銀山遺跡がある郷土、大田市への誇りと愛着の心情を培うことができた。
- ・鳥井町と石見銀山の関わりを学ぶことで、より石見銀山を身近に感じ、石見銀の流通など、さらに理解を深めることができた。
- ・石見銀山学習を通して、総合的な学習の時間における探究的な学習（「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」）を展開していくことができた。

1. 学年・人数 第6学年 31名

2. 実施時期 4月から7月

3. 学習のねらい

○石見銀山遺跡について、学習課題を設定して学習を進めることで、興味・関心を高める。

○副読本等で調べたり、課題意識をもって現地学習を行ったりすることによって、遺跡の価値に気付くとともに、知識と理解を確かなものにしていく。

○学習の成果をまとめ、発表することを通して、この地に生まれ育った一人として、この遺産に誇りをもち、大切にしていこうとする心情を育てる。

4. 学習の内容と様子

(1) 副読本「石見銀山ことはじめ」やパンフレット、DVD視聴等を通じた学習

- ①世界遺産について
- ②銀山をめぐる争いについて
- ③世界とのつながりについて
- ④銀の掘り方について
- ⑤間歩について
- ⑥銀（丁銀）ができるまでについて

【児童の感想】

- ・石見銀山が世界遺産と知っていたけれど、これだけ大切ですごいものだとは知りませんでした。
- ・ポルトガル人が来航した目的が石見銀を手に入れることだと知って、日本の銀がそんなに評価されていたことに驚きました。

(2) 旧波根湖干拓による新田開発について学習する。

- ①川崎平右衛門の業績について
- ②新田開発について

(3) 現地での学習（6月17日）

①大久保間歩、釜屋間歩の見学



【児童の感想】

- ・山はけっこうあるけれど、その中でも銀がとれるのは、少しの山だけということがわかりました。
- ・銀は空気と合わさって黒くなることを知り、とても驚きました。
- ・間歩で働いていた人はいつも危険と隣り合わせで、ほっている人はすごいなと思いました。

②世界遺産センターでの展示見学



### ③ゆり盆体験学習



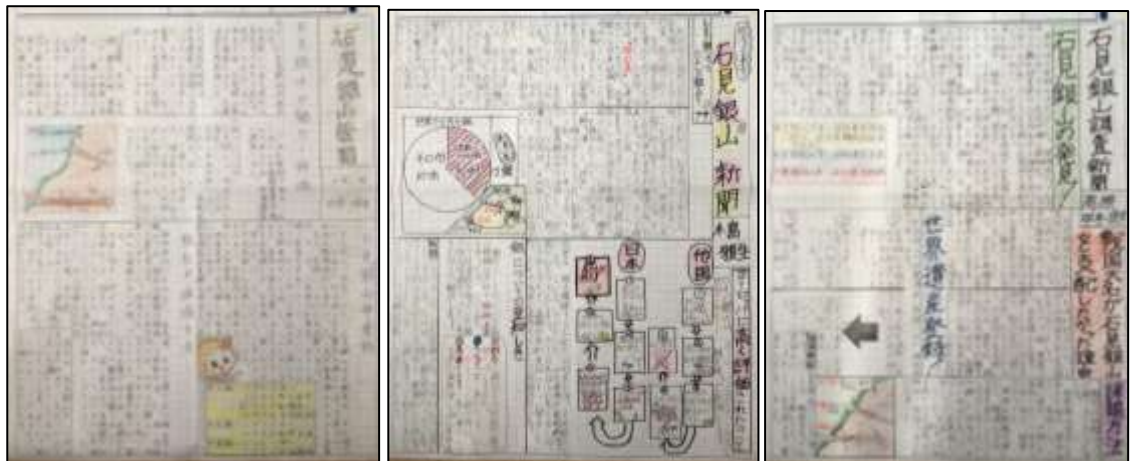
### ④五百羅漢見学



#### 【児童の感想】

- ・実際にやってみると、思ったより難しかったし、腰も痛かったです。昔の人はずっとやっていて、すごいと思いました。
- ・羅漢寺では、いろいろな表情の像がありました。働いておられた方のおかげで今があると思いました。

### (4) 調べたことをまとめる学習 (新聞)



## 5. 成果と課題

- 学習を通して児童の石見銀山遺跡への興味・関心を高めるとともに、ふるさとへの愛着と誇りをもつことにつながった。
- 間歩などの見学やゆり盆体験活動を通して、当時の生活の大変さを感じたり、人々の思いを想像したりすることにつながった。また、副読本等で学習したことについて実感することができ、理解を深めることができた。
- 石見銀山遺跡の歴史的価値などをまとめる学習活動を通して、石見銀山の素晴らしさを感じるとともに、「石見銀山を大切にしたい。」「よさを知ってもらいたい。」など、今後の保護・保存・活用への意欲を高めることができた児童が多かった。



## 令和3年度 石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

### ○実施学年・人数

第6学年 14名

### ○実施時期

令和3年5月～令和3年12月

### ○学習のねらい

- ・石見銀山について学習することを通し、ふるさとへの愛着と誇りをもつ。
- ・自分で設定した課題について、体験活動や調べ学習を通して学んだことをまとめ、伝え合う。

### ○学習内容

過程	主な学習活動
事前学習	<ul style="list-style-type: none"><li>○学習課題を見つけよう<ul style="list-style-type: none"><li>・副読本やインターネット、パンフレット、DVD等から石見銀山遺跡の歴史や価値について知り、自分が調べたいテーマを考える。</li></ul></li></ul>
現地学習	<ul style="list-style-type: none"><li>○波根の長福寺を見学しよう<ul style="list-style-type: none"><li>・長福寺で毛利元就ゆかりの品を見せてもらう。</li></ul></li><li>○富山の要害山を見学しよう<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の方にガイドしていただき見学する。</li></ul></li><li>○世界遺産センターで調べよう<ul style="list-style-type: none"><li>・ガイドの方の話を聞く。</li><li>・センター内を見学し調べる。</li><li>・調べても分からなかったことを質問する。</li><li>・ゆり盆や丁銀作りを体験する。</li></ul></li><li>○大久保間歩・釜屋間歩を見学しよう<ul style="list-style-type: none"><li>・ガイドの方に説明していただきながら間歩を見学する。</li><li>・ガイドの方に質問する。</li></ul></li></ul>
事後学習	<ul style="list-style-type: none"><li>○石見銀山について分かったことをまとめよう<ul style="list-style-type: none"><li>・調べたことを新聞にまとめる。</li><li>・新聞コンクールに応募する。</li><li>・学習発表会で、調べて分かったことを発信する。</li></ul></li></ul>

### ○実際の学習の様子

#### ◆波根長福寺見学



#### ◆富山要害山見学



◆世界遺産センター見学



◆ゆり盆体験



◆丁銀作り体験



◆大久保間歩見学



○学習の成果と課題

- ・石見銀山のことをほとんど知らない児童が、その歴史的価値を学ぶよい機会となり、児童にとって石見銀山が身近なものとなった。
- ・身近な地域にある石見銀山に関連した遺品や遺跡の価値を知ることによって、ふるさとに対する誇りや郷土愛が育まれた。
- ・石見銀山に関する個別の追求テーマを設定し学習を展開したことにより、主体的に学ぼうとする意欲や課題を解決するために追求する力の高まりがみられた。



# 3 班

第 三 中 学 校  
大 森 小 学 校  
高 山 小 学 校

# 大田市立第三中学校

## 令和3年度石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

1. 実施学年・人数 第1学年(5名)

2. 実施時期 令和3年9月～10月

### 3. 学習のねらい

- ・小学校で学習してきた「石見銀山」について、さらに理解を深めるために、尾道へ銀を運んだ「やなしお道」(※小学校では未学習)を中心に歴史や人物、事物に対する知識・理解を深め、郷土の歴史や文化遺産への関心を高める。
- ・自分なりの目標をもって学習・活動に取り組み、学習したことを要約し、絵や図を使うなどして分かりやすくまとめる。

### 4. 学習の内容

事前学習	9月6日	やなしお道について	美郷町役場の岩谷さんからの説明を聞く。
フィールドワーク	9月16日	やなしお道探索	石見銀山ガイドの会の案内で美郷町までの街道を歩く。
事後学習	9月下旬～	新聞作成	自分の目標や学習したことについてまとめ、文化祭で掲示する。

### 5. 実際の学習の様子

9月6日 事前学習

既習事項の確認



9月16日 やなしお道

フィールドワーク





11月3日 文化祭紙面発表



## 6. 成果と課題

### ・成果

- 1 「石見銀山」及び地域の「街道」や街道沿いの事物について学ぶことによって、地域の文化遺産や自然環境に愛着をもち、ふるさとへの誇りをもった生徒を育てることができた。
- 2 「街道」や物流について学ぶことによって、国内外と「石見銀山」とのつながりを知り、「石見銀山」の価値を再認識し、広い視野を持った生徒を育てるとともにその価値を次代へ継承していこうとする意欲を高めることができた。
- 3 課題解決学習の形式で「石見銀山」の歴史や自然を学ぶことによって、歴史や自然への関心を高めるだけでなく、課題解決力や表現力を高めることができた。
- 4 地域にある貴重な世界遺産の保全に対する意欲を高めることができた。

### ・課題

- 1 「やなしお道」は、当時の銀の運搬について考える貴重な道であるが、かなり足元が悪く蜂やへびなどの害虫と出会う危険性も高い。実施については、事前の下見が必要。
- 2 小学校での銀山学習を発展させていけるような内容を盛り込み、生徒の興味・関心・意欲を高める事前準備が必要。





## 令和3年度石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

1. 実施学年・人数 3～6年生の学習を中心に、全校14名が参加

2. 実施時期 6月～11月

### 3. 学習のねらい

- 石見銀山の魅力を再認識する活動を取り入れることで、郷土への誇りと愛着を育む。
- 学習したことを地域や一般に発信するという目標を立てることで、見通しをもって活動に臨み、意欲的・主体的に課題を解決していく態度を育てる。
- 発見・収集した情報を処理し、わかりやすく伝える工夫を考える活動を通して、思考力・判断力・表現力を養う。

### 4. 学習の実際の様子

大森小学校では、毎年石見銀山についての学習を全校の児童が行っており、資料を調べるだけでなく実際に出かけて行き、見学したり専門の方にお話を聞いたり、体験したりする活動を大切に考えている。以下、具体的な実践について紹介する。

#### (1) 地域発信活動（3～6年：6名）

- ・今年度は銀山地区の『銀山カルタ』のスポットから自分たちのおすすめスポットを決めて、石見銀山ガイドの会の方の協力を得ながら見学や調べ学習を行った。
- ・自分たちのおすすめスポットについて学んだことをスケッチブックに絵や図を入れてまとめ、大森っ子発表会で保護者や地域の方に対してガイドを行った。



#### (2) 世界遺産センター見学（3～6年：6名）

- ・世界遺産センターのスタッフの方に、石見銀山の歴史について展示物を使って説明をしていただいた。
- ・実際に「ゆり盆」の体験をしたり「丁銀」作りを体験したりすることができた。



(3) (3～6年：6名)

- ・大久保間歩を実際に見学し、説明を聞くことで、銀を掘り出す人々の苦労や工夫をより深く考えることができた。
- ・馬を乗り入れる逸話のある、規模の大きな大久保間歩の見学は、石見銀山の歴史やその価値についてさらに詳しく調べるきっかけづくりとなった。
- ・大久保間歩に到着するまでにある番所跡や間歩などについてもガイドの方から説明を聞くことができ、当時の大森周辺の様子を想像することができた。



(4) 保護者や地域の人へ情報発信 (全校：14名)

- ・今年度の銀山学習の取組を、「大森っ子発表会」(学習発表会)において、「カルタで巡る銀の道」と題して紹介した。
- ・1・2年生は、鞆ヶ浦までの遠足での体験を発表した。
- ・5・6年生は、大森町の観光に焦点を当てた学習を行った。町の人にインタビューも行い、自分の考えを作文にまとめて発表した。



## 6. 事業実施によりもたらされた効果

- ・石見銀山学習の活動を通して、石見銀山や大森の歴史、そこにある史跡の価値などについて再認識することができた。
- ・石見銀山ガイドの会の方々の話を聞きながら、大久保間歩や町並みを歩いて調べたり、銀の道を実際に歩いたりすることで、自分たちの目で確かめ肌で感じ取りながら学習を進めていくことができた。また、世界遺産センターでは、より専門的に詳しく話を聞くことができ、銀で栄えた当時の様子を想像することができた。
- ・学習したことを大森っ子発表会で発信したことは、地域への愛着が増すだけでなく、自己肯定感を育てる意味においても価値があった。
- ・低学年の時期から銀山学習を意識した活動を組むことで、3年生からの総合的な学習への布石とすることができた。

## 令和3年度 石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

### 1 実施学年・人数

5年生7名 6年生6名 (計13名)

### 2 実施時期

令和3年9月～11月 (※現地学習 11月17日)

### 3 学習のねらい

- 郷土の貴重な文化、歴史遺産について学習し、その歴史や価値について知ること、ふるさとに愛情と誇りを持ち、大切にしていこうとする心情を育てる。
- 児童が興味のあるテーマを探して選び、調べたり、現地学習をしたりすることで課題を追求していく力を育てる。
- 学習したことをまとめ、学級内で共有することを通して、表現力を育てるとともに、幅広い知識を身に着ける。

### 4 学習内容

#### (1) 事前学習

- ・思考ツールを使用して、児童が石見銀山について知っていることや、すでに学んだことなどを整理する。
- ・DVD資料を視聴し、石見銀山の概要について知る。
- ・自分が調べたい事柄を絞り、石見銀山ことはじめやパンフレットなどの資料をもとに調査を進める。

#### (2) 現地学習

- ・石見銀山世界遺産センターを訪れ、説明を聞いたり、自分の課題に合った資料を見学したりするなどして、情報を集める。
- ・石見銀山の開発に携わった人々の工夫や苦勞を感じることができるようするために、石見銀山世界遺産センターにおいてゆり盆体験を行う。
- ・大久保間歩・釜屋間歩及び周辺の遺跡を見学し、ガイドの会の方のお話を聞くことを通して学習を深める。

#### (3) 事後学習

- ・振り返り作文を書く。
- ・情報の整理をする。
- ・新聞にまとめ、情報の共有を行う。

## 5 学習の様子

### (1) 児童の感想

- ・ゆり盆を当時の人は一日中やっていたと聞きました。私たちは10分間やっただけで腰が痛くなりました。ゆり盆は銀を取り出すための工程の一部だけど、それだけでこれだけ大変な作業だということを知り、大変な労力だったことがわかりました。
- ・ゆり盆をするときに、たくさん砂を集めたけど少ししか取れなくて、驚きました。
- ・比重を利用したり、鉛を利用して銀だけを取り出したりすることを聞いて、すごいと思いました。
- ・ジオラマを見たり、当時の模型やレプリカなどを見たりして、石見銀山の当時の様子がイメージできました。
- ・大久保間歩では、江戸時代と明治時代の採掘の跡を見ることができた。江戸時代に人々の手で採掘した跡のほうがかきれいに掘っていると感じました。
- ・大久保間歩の中はとても広くて、奥深くまで採掘していることに驚きました。また、螺灯をともしても、とても暗くて、電気もない中での作業はとても大変だったことがわかりました。
- ・釜屋間歩やその周辺の遺跡から、昔の人の生活の跡や採掘の跡をたくさん見ることができて、世界遺産センターで見た模型のイメージとつながりました。

### (2) 新聞作成



## 6 成果と課題

学習のテーマを「すごいぞ！石見銀山」として、日本に世界に誇れるものは何なのかを追求していった。石見銀山の歴史や価値について理解を深め、その素晴らしさを知ることによって、郷土が誇る世界遺産に触れ、ふるさとを愛する心を育てることができた。また、調査活動を通して、課題を追求したり解決したりする力を育てることができた。

本校の高学年は複式学級のため、5・6年の2年間を通して、児童にどんな力をつけたいか、どんな体験から学んでほしいかを考え、カリキュラムマネジメントしていく必要がある。



# 4 班

北 三 瓶 中 学 校  
志 学 中 学 校  
志 学 小 学 校  
北 三 瓶 小 学 校  
池 田 小 学 校

## 令和3年度石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

1. 実施学年・人数            1年生7名
2. 実施時期                    令和3年7月～令和4年2月   （現地学習：9月24日）
3. 学習のねらい

### 【ふるさとを知ろう】

- ・ 郷土の貴重な文化、歴史遺産について学習し理解を深めるとともに、その背景となった歴史や地域の文化、技術について学習する。
- ・ 昔ながらの町並みをそのままに保存し、生活していこうとしている人々の思いを知り、自分自身もふるさとに誇りをもち、大切にしていこうという心情を育てる。
- ・ 世界遺産である大森の町並みや歴史的建造物を見学し、説明を聞いて理解を深める。また、石見銀山資料館での見学を通じて、歴史に関する興味・関心を高める。
- ・ 活動を互いに協力し合いながらやり遂げる力を培う。

### 4. 実際の学習のようす

#### (1) 事前学習

- ① 図書やDVD、大森在住の方の話から、石見銀山の歴史や現状を知る。
- ② 疑問点などを挙げて課題を見つけ、めあてを定める。
- ③ 現地学習の計画を立てる。

#### (2) 現地学習

場 所	内容など
①城上神社	銀山課の方の説明を聞く・見学
②石見銀山資料館	学芸員の説明を聞く・見学
③熊谷家	職員の話聞く・見学
④青山家	銀山課の方や職員の説明を聞く・見学
⑤株式会社アットゴー	社長のお話を聞く
⑥宗岡家	銀山課の方の説明を聞く
⑦群言堂	従業員の方の話聞く・見学



城上神社の境内



石見銀山資料館



熊谷家



青山家



株式会社アットゴー



群言堂

### (3) 事後学習

現地学習で学んだことをもとに、北三瓶と大森を比較して、個人の探究学習のテーマ決定の参考にする。それらをまとめ、プレゼンテーションソフトなどを用いて発表する。



プレゼンテーションソフトを用いた探究学習発表会の様子

### 5. 生徒の感想

- ・ 石見銀山資料館の館長さんが一つ一つの場所を詳しく説明してくださってすごくわかりやすかったです。説明のところに書いていないことや、昔の時代の特徴など、たくさんのがわかりました。銀山の見つけ方が一番驚きました。植物で場所がわかるということ始めて知りました。
- ・ 青山家は、昔は役人の宿であったことを知りました。そこで平入りと妻入りという家の家のとびらの位置の違いと、大森には妻入りの家が二軒しかなく、その一つが青山家だと知り、とても驚きました。また、青山家の工事をみて、工事をするときにはできる限り昔使っていたものを残していることが分かりました。昔のもの(建物)は大切な資料だと知って面白かったです。
- ・ この世界遺産である石見銀山をみんなに知ってもらおうとオリジナルの新聞を作ったり、インターネットを通じてより多くの人に知ってもらったりする気持ちがよくわかりました。新しいことにチャレンジすることには、必ず反対意見もあるけど、チャレンジすることは大切だと感じました。コツコツとやってきたから、群言堂さんが人気になっているとわかりました。
- ・ 熊谷さんのお家の中を一通り見て、接客をする部屋があつたり、かまどや生活の場をたくさん見ることができて面白かったです。昔の人の生活がよくわかって、部屋の「しつらい」と呼ばれる衣替えをしたり、扉が移動したりと、たくさんの工夫がしてありました。
- ・ 大田市の魅力をアットゴーの社長さんの目線で聞くことができてよかったです。大森を盛りあげている人たちの話を聞くと、「北三瓶もこんな風に盛りあげたい。」と思いました。また、人と人とのつながりがとても大事だと感じました。

### 6. 学習の成果と課題

郷土の貴重な文化、歴史遺産について学習し理解を深めることができた。また、昔ながらの町並みをそのままに保存し、生活していこうとしている人々の思いを知り、大森地域と北三瓶地域との比較を行った。それによって、北三瓶地域のことを見つめ直すことができ、生徒自身がふるさとに誇りを持ち、大切にしていこうという心情を育てることができた。

しかし、本校は山村留学制度により、他県出身の生徒が多く在籍しているため、地域課題に対しての考えが深まりにくい生徒も見られた。事前学習の内容と方法を考えていく必要がある。

## 令和3年度石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

1. 実施学年・人数 1年生 2名

2. 実施時期 令和3年6月～令和3年11月

### 3. 学習のねらい

- ・現地学習で学んだことをとおして、石見銀山遺跡への理解と郷土への愛着を深める。
- ・石見銀山と周辺地域の保護・整備・継承を行う人々の思いを理解してその意義に気づき、ふるさと志学も大切にしていこうとする態度を育てる。

### 4. 学習内容

- 事前学習 ねらいや見学地について知る。疑問点などを挙げて課題を見つける。
- 現地学習 大森周辺のフィールドワークをおして、石見銀山遺跡への理解を深めるとともに、課題について考える。
- 事後学習 学んだことを整理し、学んだ視点でふるさと志学について気づいたことを挙げる。
- 文化祭展示 現地学習で分かったことや学んだことを新聞形式にまとめて、小学生、保護者、地域に向けて展示する。

### 5. 実際の学習の様子

- 現地学習



#### 【生徒の感想】

- ・銀山学習で大森の歴史的景観を守らないといけないということを初めて知りました。
- ・心に残ったことは、熊谷家住宅です。熊谷家住宅には昔のかまどや昔の風呂などの昔のものや、昔の服や昔の家具などもたくさんありました。熊谷家住宅は昔の生活の様子がわかるなと思いました。
- ・大森には何度も行ったことあるけど知らないことがいっぱいありました。
- ・大森の銀はとても純度が高いからポルトガルやスペインの人が買いに来て通貨に使いました。これを聞いてとてもすごいと思いました。



○「文化祭」展示

(新聞を作成し、「文化祭」で展示)

Wordで作成し、A3用紙に印刷したものを  
展示した。



## 6. 学習の成果と課題

伝統的な町並みを守る大森のまちづくりに触れることで、石見銀山の歴史的・文化的価値を改めて感じるだけでなく、世界遺産の環境保全の意義や、それを支える地域の様子について学んだ。また、石見銀山の歴史的・文化的価値を改めて感じる事ができた。

本校の総合的な学習の時間は、志学地域をテーマに実施している。生徒たちは、自分たちの地域を見直したり、地域活性化のために意見を提案したりしている。この石見銀山学習を志学地域と結び付けて理解を深めることまで学習を進めることが出来なかったのが次年度の課題としたい。

しかし、今回の学習をとおして、質問の仕方や、得た情報を整理して相手に伝える力を身につけることができた。

生徒が銀山学習で学んだことを生かして、石見銀山に対する理解を深めるとともに、ふるさと志学と銀山のつながりや、志学のまちづくりについてさらに考えが深められるようにしたい。

大田市4班連合小学校

(志学・北三瓶・池田)

## 令和3年度大田市石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

- 1 実施学年・人数 4班連合5・6年生22名
- 2 実施時期 令和3年9～12月
- 3 学習のねらい
  - (1) 石見銀山遺跡や大森の町並み等の現地見学を通して、世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」の価値や歴史について学ぶ。
  - (2) 3校の児童が共に活動や学習をすることを通し、集団行動や協力の大切さを学ぶとともに親睦を深める。
- 4 学習内容
  - (1) 【事前学習】石見銀山の価値や歴史について資料を使った調べ学習
  - (2) 【現地学習】石見銀山遺跡、大森の町並み見学
  - (3) 【事後学習】まとめの新聞・ポスター作成と発表会
- 5 実際の学習の様子
  - (1) 事前学習
    - ・パンフレット、DVD、本や資料から、石見銀山の歴史や石見銀山遺跡の価値について知り、各自の課題を設定した。
  - (2) 現地学習
    - ・世界遺産センターを訪れ、説明を聞いたり資料を見学したりした。



- ・ 3校混合班に分かれ、ガイドの方の説明を聞きながら遺跡（間歩）の見学を行った。



- ・ 大森の町並みを歩き、ガイドの方の説明を聞きながら時間をかけて見学を行った。



### (3) 事後学習

- ・ 現地見学で分かったことを手がかりにして、各校で自分の課題についての調べ学習をさらに進めた。
- ・ 分かったことを新聞やポスターにまとめ、3校合同で学習の成果発表会を行った。



## 6 学習の成果と課題

- (1) 石見銀山と自分たちが住む地域（志学、北三瓶、池田）とのつながりを、今後探ることができるとよいと思われる。
- (2) 昨年度温泉津地区を見学した6年生は、今年度大森地区を見学したことで、世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」について広く学習することができた。

# 5 班

大 田 西 中 学 校  
仁 摩 小 学 校  
温 泉 津 小 学 校



大田市立大田西中学校

## 令和3年度石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

1. 学年・人数 1年生32名
2. 実施時期 10月～2月
3. 学習のねらい  
ふるさとや石見銀山に関する小学校の学習を振り返り、人と自然との関わりについて自然との共生について考えを深める
4. 学習の内容
  - ①ガイダンス（石見銀山の概要について）
  - ②講演会Ⅰ（銀山資料館 仲野館長）～課題の確認、整理
  - ③講演会Ⅱ（漁業関係者 宅和氏）～課題の確認、整理
  - ④調べ学習（学校図書館、GIGA スクール端末等）
  - ⑤手書きスライド作成～中間発表
  - ⑥パワーポイントによるプレゼン資料作成
  - ⑦ポスターセッション的発表（本校文化祭～体育館6か所に分かれて同時にプレゼン）
  - ⑧未来への提言（個人まとめ）作成
5. 実際の学習の様子



講演会Ⅰ（仲野館長）



講演会Ⅱ（宅和氏）



宅和氏にインタビュー



調べ学習



プレゼンづくり



プレゼン発表の様子

#### 【生徒の感想から】

- ・石見銀山の自然にやさしい循環型産業は、これから持続可能な社会（SDG s）に必要な考え方だと改めて思った。まさに世界遺産だと感じた。今の状態を維持し、未来につなげていきたい。
- ・自然を壊さないように銀の採掘をしたおかげで、たくさんの植物や生き物の命が繋がっていることがあらためてすごいと感じた。これまでの自然と共生してきた努力を受け継ぎ、みんなで森や海の豊かさを守っていきたい。ごみを減らすことから始めたい。
- ・昔と変わらずに今も人々が住んでいるこの環境を維持しつつ、さらに環境をきれいにし、もっとよいものに変えていきたい。

#### 6. 成果と課題

- ・生徒自ら意欲的に活動するとともに、石見銀山のよさに改めて気づくことができた。
- ・今後の石見銀山との関わりについて、生徒一人ひとりが自分なりの意見や考えをもち、まとめることができた。
- ・講師の話聞き、インタビュー形式の質問をすることとおして、生徒一人一人が自らのテーマについて深く考えることができた。また、学んだことや調べたことをプレゼンテーションとして発表する活動を取り入れることで、学習全体をとおして探究の過程を意識した学びを行うことができた。
- ・個々やグループのテーマについて探求していく学びは生徒の学力育成の視点からも有意義であると考え。今後も「ふるさと教育」を計画的、体系的に計画する必要性を感じている。

### 令和3年度 石見銀山学習の概要

1. 実施学年・人数 第4学年・第5学年・第6学年 86名
2. 実施時期 令和3年11月～令和4年2月
3. 学習のねらい
  - ・仁摩を知り、仁摩に愛着を感じ、誇りに思う子どもを育てる。
  - ・石見銀山遺跡や仁摩と銀山の関わりについての学習をとおして、地域の文化遺産について理解を深め、学習したことや感じたことを発信しようとする態度を育てる。

#### 4. 学習計画

学年	4年	5年	6年
単元名	井戸平左衛門について調べよう	石見銀山と私たちの仁摩	輝け！石見銀山
ねらい	仁摩町内にある史跡を地域講師と共に巡り、石見銀山や井戸平左衛門について学習することを通し、郷土の歴史への興味・関心を深める。	仁摩町と銀山の関わりについて興味をもち、鞆ヶ浦街道を実際に歩くことを通して郷土の貴重な歴史遺産や文化についての理解を深め、ふるさとへの誇りと郷土を愛する気持ち、大切に守っていこうとする心情を育む。	5年時に行った世界遺産センターでの学習をもとに、鞆ヶ浦街道を歩く現地学習など通して石見銀山の歴史や世界とのつながりについて調べ、世界遺産である石見銀山について自分達にできることを考える。  ※本来は5年時に鞆ヶ浦道学習の予定だったが、道路事情により本年度と入れ換えた。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・井戸平左衛門について図書や資料などで調べる。</li> <li>・石見銀山や井戸平左衛門についてや、仁摩地域との関わりについて地域講師の話を聞く。</li> <li>・石碑、寺院、城跡等の見学をする。(仁万・宅野・大國、大森)</li> <li>・新聞にまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石見銀山について調べてみたいことを見つけ、関心をもつ。</li> <li>・銀が運ばれた街道を歩く 大森～鞆ヶ浦港</li> <li>・仁摩と銀山との関わりについて考える。</li> <li>・リーフレットにまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年時の世界遺産センターの見学などを思い出し、石見銀山について、調べたいことを考える。</li> <li>・調べ学習をする。</li> <li>・鞆ヶ浦街道を歩く</li> <li>・石見銀山の歴史や世界とのつながりについて考え、リーフレットにまとめる。</li> </ul>

## 5. 実際の学習の様子

### ■【5年、6年】鞆ヶ浦街道を歩く 令和3年11月24日（水）



#### 【児童の感想から】

- ・この道に、もともとはお店がたくさんあったこと、銀をかくし持っていた人の地蔵があることなどを知ることができました。ガイドの会の方が、指さしながら説明してくださったので、分かりやすかったです。
- ・すべて大変だったこの道を、銀鉱石を持ちながら歩いた昔の人はすごいと思いました。
- ・ガイドの会の方が、たくさんのわたしたちの質問に答えてくださり、いろいろ知ることができました。この道を歩いてみて、石見銀山のことをもっと知りたくなりました。

### ■【4年】井戸碑・井戸神社等見学 令和4年1月18日（火）



#### 【児童の感想から】

- ・井戸平左衛門のことが、どうして地域に語り継がれているのだろうと思っていました。ゆかりの地を巡ったり、調べたりすることで分かってきたように思います。
- ・井戸平左衛門さんのおかげで、今のぼくたちは立って生きていることが分かりました。

## 6. 学習の成果と課題

- ・現地学習や調べ学習を通して、石見銀山と仁摩との関わりを知ったり、地域に昔から大切にされている物やそれを支えてきた人々の思いに気づいたりすることができ、自分達の住んでいる仁摩に、さらに誇りと愛着をもつことができたと思う。
- ・昨年度の5年生（今の6年生）が実施できなかった鞆ヶ浦街道を歩く体験を、5・6年生合同の形で実施した。また、これを機会に、これまで2日に分けて実施していた鞆ヶ浦街道を歩く体験を、1日で実施する内容に変更した。児童にとっては、街道を歩いていた先人達の足跡を、気持ちの途切れなく味わうことができ有効だった。仁摩小学校ならではの体験活動として継続していきたいと思う。



令和3年度 石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

1 実施学年、人数 第6学年 13名、第5学年 19名、 第4学年 18名 第3学年 16名

2 実施時期 令和3年9月～令和4年2月

3 学習のねらい

- ・温泉津町や大森町での現地学習を通して、石見銀山と温泉津町との関わりを学ぶ。
- ・温泉津町での見学や取材活動を通して、温泉津町についての理解を深め、ふるさとに対する愛着を育てる。

4 学習内容

	3 年	4 年	5 年	6 年
単 元	大田の昔の くらしを知ろう	大森と井戸平左衛門	福光石について調べよう	魅力発信 ～温泉津の町並み～
学 習 内 容	<p>○課題設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にある昔の道具を調べよう。</li> <li>・大田の昔のくらしについて予想する。</li> </ul> <p>○現地学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊谷家で昔のくらし体験をする。</li> <li>・昔の衣・食・住についての話を聞く。</li> </ul> <p>○まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことを新聞などにまとめる。</li> <li>・発表・振り返りをする。</li> </ul>	<p>○課題設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にある、井戸平左衛門の石碑を巡る。</li> <li>・井戸平左衛門について、資料を用いて人物像や業績などを知る。</li> <li>・課題設定をする。</li> </ul> <p>○現地学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・井戸平左衛門の行いやその時代の様子について知る。</li> <li>・大森町内の井戸平左衛門ゆかりの場所を見学する。</li> </ul> <p>○まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・井戸平左衛門についてまとめて、学習発表会で発表する。</li> <li>・井戸平左衛門の生き方を視点に振り返りをする。</li> </ul>	<p>○課題設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石見銀山資料館館長の話を聞き福光石について知る。</li> </ul> <p>○調べ学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのように採石しているかを学ぶ。</li> <li>・福光石の特徴や用途を調べる。</li> </ul> <p>○体験学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福光石の加工を体験し、当時の人の気持ちを理解する。</li> </ul> <p>○まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のまとめをし、取組の振り返りを行う。</li> </ul>	<p>○課題設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産の概要を学ぶ。(講師：石見銀山資料館館長)</li> </ul> <p>○課題追究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉津の町並みを見学し、当時の生活の様子を知る。(現地学習)</li> <li>・温泉津町の課題について考える。(現地学習)</li> <li>・温泉津の未来を考える。</li> </ul> <p>○まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容をもとに、思い描く温泉津の未来についてまとめ、発信する。</li> </ul>

## 5 実際の学習の様子



熊谷家体験学習（3年）



熊谷家体験学習（3年）



井戸神社見学（4年）



栄泉寺見学（4年）



松浦屋与兵衛史跡見学（4年）



福光石についての学習（5年）



福光石加工体験（5年）



世界遺産センター見学（6年）



温泉津での聞き取り調査（6年）

## 6 学習の成果と課題

○石見銀山や温泉津町が世界遺産に登録された意味を理解したり、地域の宝物としての「石見銀山」について考えたりする機会となり、地域を大切にしていきたいと考える児童が増えた。

○学習したことの多くを様々な方法で、地域の方に見ていただくことで、児童にとって相手意識を持った学習を進めることができた。

○銀山基金を活用することで、現地学習等の機会を多くすることができた。学習内容を工夫していく可能性が広がり、児童にとって幅広い学習の機会を設けることができた。